

今週のセルグループ(赤字) 8月22日(日)~8月28日(土)			
セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル 北山姉	8/22(日) 礼拝後	LINE 電話	8/15 2名 聖会の恵みの分かち合いをしました。感謝します。
グレイス 鈴木千姉	8/27(金) 午後8:30	鈴木宅	8/6 4名 言えないのが問題だと言われた。あらためて静かに話をしたいと思います。
Gospel 鈴木尚姉	未定		8/9 2名 主の愛が届くようにするには、どう言えばいいのかな、と考えさせられた。
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	8/15 9名 愛のない態度や思いやりのない態度で接している事が多々あると気付かされました。
からし種 磯貝姉	8/26(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	8/5 4名 それを神様が喜ばれることか聞いてみればいいとアドバイス頂いた。
ユース 岩下兄	9/5(日) 午後2:00	LINEで 分かち合い	8/15 3名 自分は余裕がなくなるとすぐに怒ってしまう者だと気付かされた。
Rock 鈴木洋兄	8/25(水) 午後8:30	鈴木宅	8/4 3名 気付いたことは言ってあげたほうが良いと示され、(部下に)指摘して諭した。
シャローム 平岩姉	8/28(土) 午前10:00	平岩宅	8/14 3名 熱があるのに、癒しを祈ることもせず、参加することが当然と一方的に思っていた。
なつめやし 高橋智姉	8/22(日) 練習後	高橋宅	8/8 5名 私が誰よりもセルのために祈り続ける必要があることに気づきました。
リジョイス 杉本姉	9/14(火) 午前10:15	LINE 電話	8/3 4名 メッセージをすぐ思い出して怒りを捨てて愛そうと微笑みました。
ジョイフル 穂刈兄	8/25(水) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	8/11 3名 なかなか話す機会がない。向き合おうとしていないのではないかと。
アガベ 長塚姉	8/29(日) 練習後	コミュニティー センター	8/8 4名 相手を変えようとして話していた、また行動していたことに気づかされ悔い改めました。
サクセス 鈴木勝兄	8/29(日) 礼拝後	コミュニティー センター	8/8 15名 セルリーダーのために祈りください。
リーダーズ セル	8月はお休み		7/14 19名 尽くし抜く。尽くすことで喜びにあふれる。
セル研修	休講		
ビジョン 平岩恵兄	8/22(日) 午後1:00	コメダ	8/15 3名 聖会に参加して恵まれ、来年も参加したいと思った。
worship 長塚寛兄	8/29(日) 礼拝後	コメダ	8/15 4名 セルリーダーのために祈りください。
高校生 平岩姉	8/22(日) 午前9:00	コミュニティー センター	8/15 3名 人のために言い方を考えて、人が進んで改めるよう思いやりをもってしていきたい。
中学生 梅田姉	8/22(日) 午前9:00	コミュニティー センター	8/15 4名 自分の間違いをひとつひとつ、気付かせてくださいって祈った。
キッズ2 小山姉	8/22(日) 午前9:00	コミュニティー センター	8/15 4名 セルリーダーのために祈りください。
キッズ1 芳井姉	8/22(日) 午前9:00	コミュニティー センター	8/15 3名 ぼく、悪いことしてないよって言いたいけど、「わざわざいだ！」って怒られるね。
Shine 小原姉	8/22(日) 午後4:30	エステル	8/15 5名 LINEをしたら、思ってもいない優しい返事が返ってきた。しかった家族の関わり。
ギデオン 芳井兄	8/28(土) 午後6:30	芳井宅	8/14 2名 賛美して生きることで自然と笑うことができる。
カルバリ 野田兄	9/7(火) 午前9:00	野田宅	8/3 8名 食事の交わりを行いました。喜んで兄弟姉妹と共に会話を楽しめたことは主の御業。
神の家族 伊岐見真姉	8/28(土) 午後7:30	LINE 電話	8/16 名 中止

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈祷会		
		司会	奏楽	奏楽		
今週	8/22(日)	I	大高愛姉	鈴木千姉	8/26(木)	鈴木尚姉
		II	大高愛姉	鈴木尚姉		
来週	8/29(日)	I	大高愛姉	鈴木千姉	9/2(木)	鈴木千姉
		II	大高愛姉	鈴木千姉		

※ 日曜礼拝バイブルスタディの補講が始まっています。
第二礼拝と並行して行われます。第一礼拝に出席してからご参加ください。
受講者には係から直接連絡があります。 祝福をお祈りください。

- 祈りの課題**
- ・人々の救いを覚えて
 - ▶ 家族知人をキリストへ
 - ▶ 教会近隣の人々の救い
 - ▶ 東海地方の救いのために
 - ▶ 日本の救いのために
 - ▶ 世界の救いのために
 - ・働きを覚えて
 - ▶ バイブルスタディの働き
 - ▶ リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶ リバイバルマmazの働き
 - ▶ 那古野アウトリーチの働き
 - ▶ 祈祷会の祝福
 - ▶ 日曜礼拝の祝福
 - ▶ 牧師の働き
 - ・ギデオン協会の働きのために
 - ・セルグループの祝福
 - ▶ ITG人生変革グループの祝福
 - ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜) (第一) 午前 9:00~10:30
(第二) 午前11:00~12:30

キッズセル(子供礼拝) (日曜) 午前 9:00~10:30

日曜礼拝バイブルスタディ (日曜) 午前11:00~12:30
☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。

バイブルスタディ (第1、第3火曜) (昼) 午後 1:00~ 2:30
(夜) 午後 7:00~ 8:30

祈祷会 (木曜) 午後 7:00~ 8:30

特別早天祈祷 (土曜) 午前 6:00~ 7:00

主の御手 週報 NO.1360

2021年8月22日(日)発行 8月第4週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、
(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始 9時 (第一礼拝)

開始 11時 (第二礼拝)

- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- ・讚美
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧ください。)
- ・自由献金 (本日は、プレーヤーハウスのための献金が特別にあります。ご意志で自由にどうぞ。)

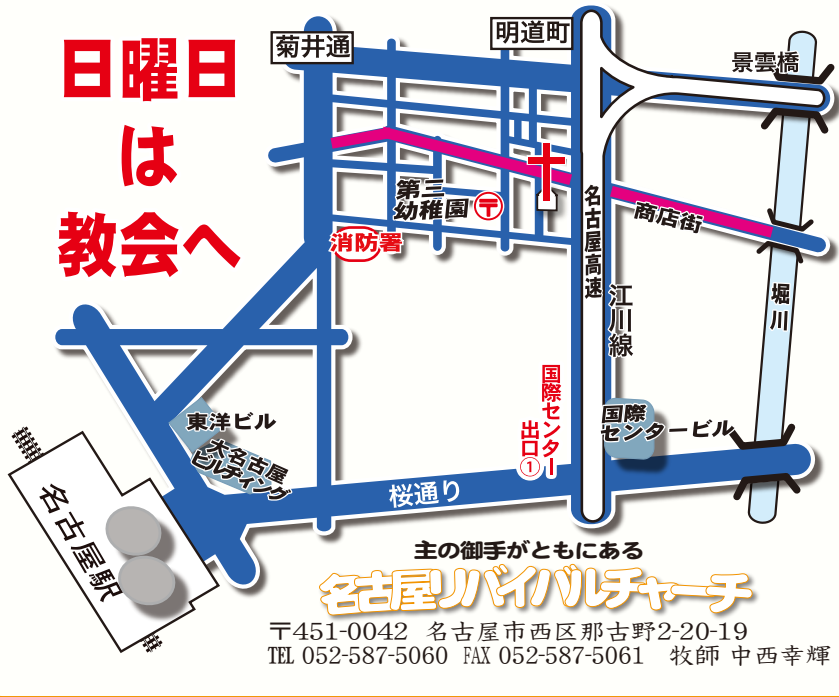
・連絡

お願い

- (1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
- (2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄りをお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。(ヨハネの手紙 第一 4章10節)

日曜日は教会へ





「ヨハネ14：1 『あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。』

ゆとりは神から来る

トランプピラミッドに挑戦

先日テレビで、29段のトランプピラミッド世界記録に挑戦するという番組を観ました。トランプを使って三角形を作り、それを上へ上へと積み重ねていくのですが、一見誰でも出来そうな気がします。それを崩さないで正確に一番上まで積み上げるのは、そう簡単には出来ません。さらには、3時間の番組放送中に完成させるという時間の制限もありました。彼は一段一段、集中してピラミッドを積み上げていきます。周囲の視線も当然感じていることでしょう。「みんなが自分のことを期待をして見ている。ここで失敗するわけにはいかない。いや、そんなことを考えてはいけません。ただ目の前のことに集中しよう。」という思いもやって来ることでしょう。あと一段という場面では緊張感が最高潮に達します。観ているこちらも、「ここまで来てもし崩れたら…」と、

たりします。できなかった時のことを考えてしまい、余計に焦る思いが増幅されていきます。「焦ってはいけません。落ち着け。落ち着くんだ。」と自分に言い聞かせて心を落ち着かせようとしませんが、そうすればするほど、余計に焦る思いがつのつっていき、頭の中がパニックになってしまいます。焦って行動したり、話しても良い結果は生まれません。しかし、それが分かっている焦ってしまうのが私たちではないでしょうか。

不信仰はないだろうか

そんな焦る気持ちがやって来る時に、私たちはどうすればいいのでしょうか。主は私たちに、「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。」と命じておられます。私たちのうちに不信仰はないでしょうか。

イエス様が弟子たちに、「向こう岸へ渡ろう」と言われ、弟子たちがイエス様を舟にお乗せして向こう岸へ向かおうとしていた時、激しい突風が起きました。湖は大荒れで、舟の中は水でいっぱいになりました。弟子たちは慌てて船尾で眠っておられたイエス様を起こして助けを求めました。弟子たちは、「先生、こんな舟が沈むかもしれないという時になぜ寝ておられるのですか。早く何とかしてください」と、イエス様に食ってかかりました。

手に汗握りその行方に釘づけになって見ていました。そして彼は、ついに番組放送中に29段のトランプピラミッドを完成させました。彼は日頃から何度もやっていますので、多少の余裕があるのかもしれませんが、それでも人の注目が集まる場面で緊張しないはずはありません。

焦ってはいけません

私たちが生活の中で、「完璧にやらないといけない。失敗してはいけません。」と感じると、途端に不安に襲われて構えてしまったり、しなくても良い心配ばかりして冷静さを失ってしまうことがあると思います。

出かける準備をするときに、「あれがない、これがない」と探し物をしている時に焦ります。「早く行かなければならない」と時間に迫られるので焦ってしまいます。普段からゆとりを持って行動していればいいのですが、そうしていても、思わぬ事態やアクシデントは私たちの生活の中でいくらでも起こります。「明日までの締め切りに間に合わせないといけない。ああ、時間が無い。」「夏休みの宿題を早くやらないと大変なことになる」と思うと焦ります。そんな時、「やらないといけない」という気持ちばかりが先行してしまい、したいことがまったく進んでいなかっ

すると、イエス様は風を叱りつけ、湖に「黙れ、静まれ（マルコ4：39）」と言われ、嵐はやみました。イエス様は、嵐に動揺する弟子たちの不信仰を叱責されました。主は、私たちの心にある不信仰を取り除いて、信仰を引き出そうとしておられます。

神を信じる信仰に立つ

私たちは、「自分にはできるだろうか」と考えていること自体が不信仰であって、神への信頼の態度ではないということを知らなければなりません。ですから、主の視点に立って物事を見なければなりません。主は「できるなら、と言うのですか。信じる者には、どんなことでもできるのです。（マルコ9：23）」と私たちに語られます。私たちは「主にあってできます。」と告白しなければなりません。主を信じて疑わないならば、主は私たちのうちに働いてくださって、やる気を与えてくださり、事を行わせてくださいます。そして冷静になって起きている状況を見ることができるので、「私は今何を一番優先しなければいけないのか」ということに気が付かされて、行動していくことができます。私たちは主にあって、ゆとりを持って前進することができるのです。